

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(市町総括表)
【単独・連携事業】

市町名	壬生町
-----	-----

(単位:円)

No.	単位事業名		令和3(2021)年度	令和4(2022)年度	令和5(2023)年度	令和6(2024)年度	令和7(2025)年度	合計
1	国際観光推進事業	総事業費	751,180	750,000	751,000	500,000	500,000	3,252,180
		うち市町支出額	750,000	750,000	750,000	500,000	500,000	3,250,000
		うち県交付金	375,000	375,000	375,000	0	0	1,125,000
2	みぶブランド認定事業者促進事業	総事業費	1,000,001	1,000,005	751,000	750,000	500,000	4,001,006
		うち市町支出額	1,000,000	1,000,000	750,000	750,000	500,000	4,000,000
		うち県交付金	500,000	500,000	375,000	0	0	1,375,000
3	壬生お殿様料理促進事業	総事業費	533,921	1,200,005	751,000	750,000	500,000	3,734,926
		うち市町支出額	500,000	1,200,000	750,000	750,000	500,000	3,700,000
		うち県交付金	250,000	600,000	375,000	0	0	1,225,000
4	壬生まちなか創生事業	総事業費		1,000,006	1,001,000	1,001,000	750,000	3,752,006
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	750,000	3,750,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
5	おもちゃのまち創生事業	総事業費		1,000,006	1,001,000	1,001,000	750,000	3,752,006
		うち市町支出額		1,000,000	1,000,000	1,000,000	750,000	3,750,000
		うち県交付金		500,000	500,000	500,000	0	1,500,000
6	壬生町情報発信拠点推進事業	総事業費		2,400,008	2,401,000	2,401,000	2,401,000	9,603,008
		うち市町支出額		2,400,000	2,400,000	2,400,000	2,400,000	9,600,000
		うち県交付金		1,200,000	1,200,000	600,000	0	3,000,000
7	みぶの日開催事業	総事業費		600,001	600,000	600,000	600,000	2,400,001
		うち市町支出額		600,000	600,000	600,000	600,000	2,400,000
		うち県交付金		300,000	300,000	0	0	600,000
8	郷土の偉人顕彰作業	総事業費		2,793,324	2,800,000	2,800,000	3,000,000	11,393,324
		うち市町支出額		2,793,324	2,800,000	2,800,000	3,000,000	11,393,324
		うち県交付金		1,000,000	1,000,000	1,000,000	0	3,000,000
9	第18回全国藩校サミット壬生大会	総事業費	13,826,235					13,826,235
		うち市町支出額	5,801,845					5,801,845
		うち県交付金	2,900,922					2,900,922
10		総事業費						0
		うち市町支出額						0
		うち県交付金						0
市町計		総事業費	16,111,337	10,743,355	10,056,000	9,803,000	9,001,000	55,714,692
		うち市町支出額	8,051,845	10,743,324	10,050,000	9,800,000	9,000,000	47,645,169
		うち県交付金	4,025,922	4,975,000	4,625,000	2,600,000	0	16,225,922

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	国際観光推進事業
事業主体の名称	壬生町国際観光推進協議会
代表者の名称	会長 小菅 一弥
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的: インバウンド観光への各種対応を官民一体的に展開し、本町国際観光の推進を図る。 設立年月日: 令和2年3月18日 構成員等: 観光協会長、商工会長、おもちゃ博物館長、ホスピタルイン獨協医科大学支配人、東武鉄道榑駅長等
当該事業に係る地域の現状と課題	本町ではインバウンド観光への対応として、観光パンフレット及び観光協会HPの多言語対応や多言語化表記看板の設置等の基盤整備、単発的な観光PRイベント等は行ってきたが、継続可能で魅力的な商品としての観光ツアーの開発がほとんど進んでいない。(行政による基盤整備は進めども、民間によるツアー商品等の開発・提供は進んでいない)
事業目的	本物の出会い栃木DCで養った観光経験をDレガシーとして、インバウンド観光への対応と多言語化対応によるおもてなしの向上を官民一体となって展開し、本町国際観光を推進する。
事業概要	<p>1. 各種プロモーション活動 県等が都心等で開催する観光イベント、及び本町サテライトオフィス(虎ノ門ヒルズ内)等を活用し、PR活動を展開する。</p> <p>2. 観光ツアー開発事業 観光資源を活用した、ツアー商品の磨き上げとして、「壬生町ならでは」である城下町、日光街道や歴史的観光資源をモチーフとしたモニタリングツアーを継続する。 外国人モニターの他、マスコミ関係者、旅行業者等を招待し、実施する予定である。 また、その様子は動画、画像撮影し、町観光協会のSNS等を通じてプロモーションを図る。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> インバウンドに対応した観光振興を図ります。 KPI: みぶハイウェーパーク来訪者数 現状(R元)2,117,509人 → 目標(R7)2,500,000人 【R3実績 1,489,198人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアー開発事業 多言語化表記看板設置 	<ul style="list-style-type: none"> 観光ツアー開発事業 	<ul style="list-style-type: none"> 各種プロモーション活動 観光ツアー開発事業 		<ul style="list-style-type: none"> 各種プロモーション活動
事業費	751,180	750,000	751,000	2,252,180	500,000
市町支出金 (ソフト事業分)	750,000	750,000	750,000	2,250,000	500,000
うち県交付金	375,000	375,000	375,000	1,125,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1,180	0	1,000	2,180	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業収支予算書

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	国際観光推進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	750,000	
雑入	1,000	
計	751,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	100,000	100,000	50,000	0	モニタリングツアー用消耗品費 イベント設営用消耗品費
2. 委託料	550,000	550,000	275,000	0	モニタリングツアー開催関係委託料等
3. 旅費	15,000	15,000	7,500		
3. 負担金	86,000	86,000	43,000	0	各種イベント参加等負担金
計	751,000	751,000	375,500	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶブランド認定事業者促進事業
事業主体の名称	みぶブランド認定事業者協議会
代表者の名称	会長 戸崎 裕司
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:みぶブランドの認知度向上を図る。 ・設立年月日:令和3年4月27日 ・構成員等:戸崎農園(株)、(有)天志古商店、就労支援むつみの森他17事業者
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・各事業者の個別展開はあるものの、みぶブランドとしての統一的な対外PR、その他活用が不十分な状況である。 ・コロナウィルスの影響、後継者不足に伴い、苦境に立たされている事業者も少なくない。
事業目的	みぶブランドのPR等により、新たな販路開拓と壬生町の認知度向上を図るとともに、町内にあっては新たな主力(魅力)の掘り起こしと、事業者による新たな事業展開や製造量増加につなげる。
事業概要	<p>本年度は、昨年度作成した紙資源と印刷費の低減等を図った新パンフレット等を使用し、都心部で開催する県主催の観光イベントや、本町サテライトオフィスにおけるプロモーション活動を展開する。 コロナ禍の緩和状況を勘案しつつだが、試食等も含め、観光商談会におけるみぶブランドに特化したプレゼンテーションも実施したい。</p> <p>また、SNS活用、事業継承等に関する各種研修会を開催し、事業者のスキルアップと、みぶブランド品の持続可能性を高める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI:地域ブランド品目認定数 現状31件(H30) → 目標40件(R7)【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・のぼり旗、パンフレット等作成 ・イベント出店等 	<ul style="list-style-type: none"> ・販売促進冊子、ポスター、紙袋等作成 ・SNS発信力強化事業 ・各種販促イベント参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・各種販促イベント参加 ・各種研修会開催 		<ul style="list-style-type: none"> ・各種販促イベント参加 ・各種研修会開催
事業費	1,000,001	1,000,005	751,000	2,751,006	750,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	750,000	2,750,000	500,000
うち県交付金	500,000	500,000	375,000	1,375,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	1	5	1,000	1,006	250,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業収支予算書

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	みぶブランド認定事業者促進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	750,000	
雑入	1,000	預金利子等
計	751,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
1. 印刷製本費	150,000	150,000	75,000	0	販促冊子作成、ポスター作成増刷等経費
2. 消耗品費	150,000	150,000	75,000	0	各種イベント設営関係等消耗品費
3. 旅費	30,000	30,000	15,000	0	各種イベント等出張等旅費
4. 負担金	71,000	70,000	35,000	1,000	各種イベント開催等負担金
5. 委託料	350,000	350,000	175,000	0	SNS強化、事業継承等研修会開催関係経費
計	751,000	750,000	375,000	1,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生お殿様料理促進事業
事業主体の名称	壬生お殿様料理促進の会
代表者の名称	会長 鈴木浩
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理: 壬生藩鳥居家に伝わる御献立帳を基に、歴代藩主(お殿様)が食した献立を復刻、もしくは現代風にアレンジした料理 ・団体の目的: 壬生藩鳥居家三万石のお殿様料理の認知度向上 ・設立年月日: 令和3年4月22日
当該事業に係る地域の現状と課題	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理について、一定の格式高さを確保しつつも、多くの人に、数多く味わっていただくための機会創出が不十分である。 ・町民における、料理自体、及びお殿様料理に繋がる壬生藩の歴史に関する認知度が不十分である。
事業目的	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理等の販売により、壬生町の豊かな自然と医食同源の歴史を現代風にアレンジ等の上、町内外に壬生の歴史をPRすることで、観光客等の交流人口を増加させる。 ・様々な食材の活用、特徴的な容器の作成、及び広報宣伝活動等を通じて、町内事業者の連携及び町外事業者との取引等を通じた関係人口の増加を図る。
事業概要	<p>本年度は、昨年度開始した「サビかん」プロジェクトを展開し、鳥居家(お殿様)由来の歴史的財産であるかんびょうを通じたお殿様料理等のプロモーションを実施する。</p> <p>また、同様に昨年度作成(増刷)したポスター等を活用し、県等が主催する首都圏等でイベント、商談会等への参加、及び町サテライトオフィスでのPRを進める。</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・生産から開発、販売、PRを一体的に進める農業の6次産業化を推進し、壬生町ブランドの認知度向上を図ります。 ・KPI: 地域ブランド品目認定数 現状31件(H30) → 目標40件(R7) 【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R3年度	R4年度	R5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・お殿様料理作成事業 ・パンフレット、のぼり旗作成 ・各種イベント参加 ・情報発信ライター事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・ポスター作成 ・パンフレット、のぼり旗増刷 ・プロモーションイベント開催準備 ・情報発信ライター事業 ・各種イベント参加 	<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションイベントの開催 ・各種イベント参加 		<ul style="list-style-type: none"> ・プロモーションイベントの開催 ・各種イベント参加
事業費	533,921	1,200,005	750,000	2,483,926	750,000
市町支出金(ソフト事業分)	500,000	1,200,000	750,000	2,450,000	750,000
うち県交付金	250,000	600,000	375,000	1,225,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	33,921	5	0	33,926	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業収支予算書

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生お殿様料理促進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	750,000	
雑入	1,000	預金利子等
計	751,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 印刷製本費	245,000	245,000	122,500	0	ポスター、パンフレット等増刷等経費
2. 委託料	400,000	400,000	200,000	0	サビかんプロジェクト委託料
3. 負担金	50,000	50,000	25,000	0	各種イベント参加等負担金
4. 旅費	35,000	35,000	17,500	0	各種イベント参加等旅費
5. 消耗品費	17,000	16,000	8,000	1,000	販促イベン等開催経費
6. 食糧費	4,000	4,000	2,000	0	新お殿様料理 試食研究費
計	751,000	750,000	375,000	1,000	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生・まちなか創生事業
事業主体の名称	壬生まちなか創生ワーキング
代表者の名称	会長 水井正行
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> ・団体の目的:旧城下町壬生を中心とした「壬生まちなか」の活性化 ・設立年月日:平成29年6月 ・構成員等:商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	ロードサイドの発展とは裏腹に、旧市街地である壬生地区では空き店舗等が年々増加し、いわゆるシャッター商店街化が進んでいる。また、城下町ならではの魅力を発信しきれておらず、若年層の壬生離れが進んでいる。
事業目的	城下町壬生の魅力を発揮し、周遊観光の増進の下、「商店街の活性化」と「街の担い手確保」を推進する。
事業概要	<ol style="list-style-type: none"> 1. まちなかでの経営可能性の確認、地域との人脈作り、そして空き店舗等の活用 <ul style="list-style-type: none"> ・各種イベントとタイアップし、まちなか、空き店舗等のお試し活用を実施する。 ・城下町壬生のPRに資する、日光街道連携交流会を実施する。 2. 空き店舗等の活用研修会 <ul style="list-style-type: none"> ・本町の他地区、及び周辺自治体での先進事例を研究する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<ul style="list-style-type: none"> ・商工会と連携し、地域商業の育成や経営の持続化などの施策を推進します。 ・KPI: 壬生ブランド認定品目数 現状(H31)30件 → 目標(R7)45件 【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・各種イベント開催 ・空き店舗活用推進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等活用推進事業 ・空き店舗等活用研修事業 	<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等活用推進事業 ・空き店舗等活用研修事業 		<ul style="list-style-type: none"> ・空き店舗等活用推進事業 ・空き店舗等活用研修事業
事業費	1,000,006	1,001,000	1,001,000	3,002,006	751,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	750,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	1,000	1,000	2,006	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業収支予算書

市町名	壬生町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	壬生・まちなか創生事業
-------	-------------

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	1,000,000	
雑入	1,000	預金利子等
計	1,001,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	450,000	450,000	225,000	0	・空き店舗活用等イベント運営経費等
2. 印刷製本費	131,000	130,000	65,000	1,000	・空き店舗活用等イベント運営経費等
3. 保険料	10,000	10,000	5,000	0	・空き店舗活用等イベント運営経費等
4. 使用料及び賃借料	30,000	30,000	15,000	0	・空き店舗活用等イベント運営経費等
5. 報償費	50,000	50,000	25,000	0	・空き店舗等活用に関する研修関係経費
6. 工事請負費	330,000	330,000	165,000	0	・空き店舗活用等イベント運営経費等
計	1,001,000	1,000,000	500,000	1,000	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
 連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	おもちゃのまち創生事業
事業主体の名称	おもちゃのまち遊々創生ワーキング
代表者の名称	会長 小林信作
事業主体の所在	壬生町大字壬生甲3841番地1
事業主体の概要	・団体の目的:おもちゃのまち地区の活性化 ・設立年月日:平成30年7月 ・構成員等:商工会青年部、金融機関、地元商店、メディア、町職員等
当該事業に係る地域の現状と課題	おもちゃ工場の集積地であるおもちゃ団地を中心に形成されてきた「おもちゃのまち」であるが、工場の海外移転等による空洞化や、地区内においては高齢化が進むほか、駅周辺の旧中心市街地の商店街では衰退化が進んでいる。
事業目的	全国でただ一つ「おもちゃの博物館」が2つ(壬生町立おもちゃ博物館、おもちゃのまちバンダイミュージアム)立地し、全国的にも珍しい町名として認知されつつある「おもちゃのまち」の魅力を発信する中で、中心市街地の活性化を図る。 また、近年隣接地で展開されている六美町北部土地区画整理事業に伴う新たなまちづくりとの連携によって、誘客促進等を図る。
事業概要	1. 大型商業施設への集客をまちなかへ誘導事業 県民の日東武無料乗車デイトのタイアップ、及びバンダイミュージアム等への誘導イベント等を実施し、六美町北部地区からまちなかへの回遊性を向上させる。 2. PR動画「ユメビト」作成 「おもちゃづくりを通じて子どもの夢を作り続けたおもちゃのまちは、夢を追い続ける人々を応援する街」と定義づけ、おもちゃのまちの担い手を中心とした魅力ある人物をクローズアップしたPR動画「ユメビト」を作成する。
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	・商工会と連携し、地域商業の育成や経営の持続化などの施策を推進します。 ・KPI:壬生ブランド認定品目数 現状31件(H30) → 目標40件(R7)【R3実績 35件】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	・「ユメビト」発信事業 ・グルメマップ(誘客促進)増刷等	・誘客策検討、実践事業 ・「ユメビト」発信事業	・誘客策検討、実践事業 ・「ユメビト」発信事業		・誘客策検討、実践事業 ・「ユメビト」発信事業
事業費	1,000,006	1,001,000	1,001,000	3,002,006	751,000
市町支出金 (ソフト事業分)	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	750,000
うち県交付金	500,000	500,000	500,000	1,500,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	6	1,000	1,000	2,006	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課
担当者名	武田
電話	0282-81-1844
FAX	0282-82-1107
E-mail	keizai@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業収支予算書

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	おもちゃのまち創生事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額	備考
補助金	1,000,000	
雑入	1,000	預金利子等
計	1,001,000	

2 支出の部

科目	予算額	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
1. 消耗品費	196,000	195,000	97,500	1,000	回遊性向上に係るイベント関係経費等
2. 印刷製本費	300,000	300,000	150,000	0	うまいものマップ改訂等
3. 委託料	500,000	500,000	250,000	0	PR動画ユメビト2本作成
4. 旅費	5,000	5,000	2,500	0	アニメの聖地認定推進活動旅費
計	1,001,000	1,000,000	500,000	1,000	

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。
 連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	壬生町情報発信拠点推進事業
事業主体の名称	道の駅みぶ連絡推進協議会
代表者の名称	会長 深津 栄美
事業主体の所在	壬生町大字国谷1870番地2
事業主体の概要	<p>・団体の目的:道の駅みぶのイベント情報、町からの事務連絡、各店舗からの情報などを共有し、円滑な施設運営や各施設の連携を図り、道の駅みぶの賑わい創出を実践する。</p> <p>・設立年月日:平成31年4月1日</p> <p>・構成員等:みぶの路代表、みぶYELL代表、みぶのやおやさん代表、南ヶ崎ハウスヒガノ代表、ストロベリーファーム代表、みらい館代表、栃木県民公園福祉協会、町施設振興公社、町商工会、町</p>
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>道の駅みぶはみぶハイウェイパーク、とちぎわんぱく公園、壬生町総合公園、壬生町おもちゃ博物館からなる施設であり、高速道路に面したみぶハイウェイパークには、町内20社で構成された法人等による売店、町内飲食業者による食堂、町内生産者で多くの農産物を販売している農産物直売所、町内パティシエによるフルーツパーラーがあり、壬生町の特産品等の販売の拠点となっている。</p> <p>しかしながら、高速道路のPAとしての利用者にとっては、観光目的地への道中の立ち寄り所としての利用であるため、道の駅みぶの認知度が低く感じられる。</p> <p>また、道の駅みぶには、おもちゃ博物館やわんぱく公園等1日遊べる施設があるため、単なる立ち寄り場所ではなく観光目的地としてPRしていくために、道の駅の玄関口であるみらい館からおもちゃ博物館やわんぱく公園へ誘導するような、各施設と連携したイベントを実施する必要がある。</p>
事業目的	壬生町の産業振興、文化振興及び地域の活性化を推進すると共に町民相互の交流や来訪者への情報提供等を促進するための拠点施設として積極的にPRをし、認知度を高め、観光客入込数の増加や道の駅みぶの賑わい創出を図る。
事業概要	<p>【令和5年度】</p> <p>【1-c】参加・交流型</p> <p>令和元年度から2年度の栃木県わがまち未来創造事業では、「道の駅みぶ」の認知度を高めることを目的としていたが、高速道路の玄関口である「みぶハイウェイパーク」のみ来客者が多い状況であるため、栃木県わがまちつながり構築事業では、「道の駅みぶ」内施設の連携の強化により、「みぶハイウェイパーク」から他の施設へ誘導し、「道の駅みぶ」全体の関係人口の拡大を目指す。</p> <p>①賑わい創出イベント開催</p> <p>・道の駅みぶ来場者向上のため、感謝祭(秋頃)、福引抽選会(秋頃)、いちご祭(R6.1~2月)、かんぴょうの展示(R5.7~8月)等を開催し、来場者の向上及び滞在時間の拡大を図る。</p> <p>②連携イベント開催</p> <p>・とちぎわんぱく公園で行われるトマトのマルシェ(R5.5.28)でのトマトすくいやトマトの直売等のイベント参加や、みぶハイウェイパーク、とちぎわんぱく公園、壬生町おもちゃ博物館を巡るスタンプラリー「ひな巡りスタンプラリー」(R6.2~3月)等施設連携イベントの実施により、みぶハイウェイパークからとちぎわんぱく公園、おもちゃ博物館への誘導を図る。</p> <p>③PR活動</p> <p>・イベントの開催チラシの新聞折り込み広告や道の駅パンフレットの作成による道の駅のPRを行う。</p> <p>・WebサイトやSNSを利用し、道の駅みぶの情報発信を行う。</p> <p>【令和6年度~】前年度の反省点等を踏まえ、継続して実施</p>
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	<p>壬生町創生総合戦略 基本目標2</p> <p>壬生町への新しい人の流れをつくる。</p> <p>【数値目標】みぶハイウェイパーク来訪者数 1,489,198人(R3)→2,500,000人(R7)</p>

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	R4年度	R5年度	R6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動	①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動		①賑わい創出イベント開催 ②連携イベント開催 ③PR活動
事業費	2,400,008	2,401,000	2,401,000	7,202,008	2,401,000
市町支出金 (ソフト事業分)	2,400,000	2,400,000	2,400,000	7,200,000	2,400,000
うち県交付金	1,200,000	1,200,000	600,000	3,000,000	
市町支出金 (ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	8	1,000	1,000	2,008	1,000

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	商工観光課みらい館係
担当者名	深津 栄美
電話	0282-82-3591
FAX	0282-82-3593
E-mail	miraikan@bz03.plala.or.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	壬生町情報発信拠点推進事業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	2,400,000	
雑入	1,000	利息等
計	2,401,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
		県交付金			
報償費	230,000	230,000	115,000	0	出演者謝金、イベント抽選会 賞品(いちご、ぬいぐるみ、お もちや博物館優待券、ソフトク リーム、プリン、ジャム等)
消耗品	200,000	200,000	100,000	0	イベント消耗品(トマトすくい 用ミニトマト、展示用かんぴよ う、消毒用アルコール、フェイ スシールド、プリンタ用紙、プ リンタインク等) 屋外テーブルセット
印刷製本費	700,000	700,000	350,000	0	イベント用チラシ パンフレット作製
広告費	185,000	185,000	92,500	0	新聞、雑誌等広告掲載
委託料	875,000	875,000	437,500	0	ステージ運営、駐車場警備、 音響設備、司会進行
通信運搬費	10,000	10,000	5,000	0	イベント等賞品発送料 HPドメイン使用料
使用料及び賃借料	100,000	100,000	50,000	0	イベント使用料
予備費	101,000	100,000	50,000	1,000	
				0	
				0	
				0	
計	2,401,000	2,400,000	1,200,000	1,000	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調査)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	みぶの日開催事業
事業主体の名称	みぶの日実行委員会
代表者の名称	会長 櫻井 康雄
事業主体の所在	〒321-0292 栃木県下都賀郡壬生町大字壬生甲3841-1
事業主体の概要	・団体の目的: 毎年3月2日「32(みぶ)の日」を中心に壬生町の魅力を発信するためのイベントを開催する ・設立年月日: 平成27年12月 ・構成員等: 社会福祉協議会、自治会連合会、商工会、JALもつけ壬生地区営農経済センターなど
当該事業に係る地域の現状と課題	本町は伝統芸能や優れた食文化等の地域資源を有しているが、認知度不足、担い手の高齢化などの問題を抱えており、有効に活用しきれない状況が続いていることから、毎年3月2日「32(みぶ)の日」を位置づけて、その魅力を再認識するとともに、町内外に発信することが求められている。
事業目的	「みぶの日フェア」を開催することにより、町民の交流促進や地域資源の掘り起こしを図るとともに、町外や県外に向けて、壬生町の魅力を発信し、壬生町を訪れた方に「ちょっと聞きたいまち・みぶ」として定着を目指すことで、北関東周辺の関係人口の増加及び町の活性化に寄与することを目的とする。
事業概要	【令和5年度】 事業名称: みぶの日フェア【1-d】参加・交流型 開催日: 令和6年3月3日(日) 開催場所: みぶハイウェイパークみらい館(道の駅みぶ) 壬生町では、3月を壬生町PR月間に位置付け、その核となる3月2日を「みぶ(32(みぶ))の日」として、町の活性化を図っている。特に、3月第1週の日曜日を「みぶの日フェア」として、壬生町の魅力を町内外の方に感じてもらうため各種イベントを開催し、関係人口の拡大を目指す。 ①各種ステージイベント: 壬生町出身アーティスト等によるステージ、壬生町の伝統芸能のステージ演奏 ②町特産品を活用した料理の提供など ③町特産品の販売: 特産物(いちご・トマト等)の販売、みぶブランド認定品の紹介・販売、おもちゃ関連の展示・販売など ④町の歴史・文化の紹介: 壬生町の歴史・文化財紹介など ⑤ウエルカム企画: 公共交通機関を利用した来場者への来場者特典の進呈など ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売: 群馬県の上野焼き、焼きまんじゅう、茨城県の自然薯だんご、ジャンボつくねの提供など ⑦町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画(施設の入館料の割引等) ⑧持続可能な社会の実現に向けた、町内企業のPR活動の場の提供など 【令和6年度】 前年度を顧みて、継続的に実施
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	第2期壬生町創生総合戦略 基本目標2 壬生町への新しいひとの流れをつくる 【数値目標】観光客入込数 3,709,996人(H30)→3,895,496人(R7) 【R4実績 2,665,324人】

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和3年度	令和4年度	令和5年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤体験コーナー ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦観光ロケイニングとのタイアップ ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR ※新型コロナウイルス感染症の影響により中止	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤ウエルカム企画(公共交通機関の利用促進) ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画 ⑧町内企業のPR	①各種ステージイベント ②町特産品を活用した料理の提供 ③町及び北関東特産品の展示・販売 ④町の歴史・文化の紹介 ⑤ウエルカム企画(公共交通機関の利用促進) ⑥北関東隣県と連携した特産品の販売 ⑦町内観光施設と連携した周遊観光に向けたタイアップ企画 ⑧SDGsの推進に向けた町内企業のPR		
事業費	0	600,001	600,000	1,200,001	
市町支出金(ソフト事業分)	0	600,001	600,000	1,200,001	
うち県交付金	0	300,000	300,000	600,000	
市町支出金(ハード事業分)				0	
うち県交付金				0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	総合政策課 企画調整係
担当者名	金武 美和
電話	0282-81-1813
連絡先 FAX	0282-28-6718
E-mail	sougo@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	壬生町
-----	-----

※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。

単位事業名	みぶの日開催事業
-------	----------

対象年度	5	年度
------	---	----

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
補助金	600,000	町補助金
計	600,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
委託費	555,500	555,500	277,750	0	会場設営、ステージ運営、音響、出演者調整(@511,500円) 駐車場整理(@22,000円×2名)
印刷製本費	31,500	31,500	15,750	0	ポスター(@600円×30枚) チラシ(@45円×300枚)
消耗品費	13,000	13,000	6,500	0	感染対策消耗品、ウエルカム企画配付物等
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	600,000	600,000	300,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業調書)
【単独事業】

市町名	壬生町
事業名	郷土の偉人顕彰作業
事業主体の名称	「郷土の偉人顕彰作業」実行委員会
代表者の名称	会長 寺内 進
事業主体の所在	栃木県下都賀郡壬生町本丸1-8-33(壬生町立歴史民俗資料館内)
事業主体の概要	<ul style="list-style-type: none"> 団体の目的:「郷土の偉人」を顕彰する展示会等を開催し、その普及を図ることを目的とする。 設立年月日: 令和5年4月1日 構成員等: 教育長、大学講師、壬生論語古義塾生、壬生ロータリークラブ、壬生町観光ボランティア
当該事業に係る地域の現状と課題	<p>地域の特徴・現状・課題等(事業の内容と関連するもの)を記載</p> <p>壬生町立歴史民俗資料館では、平成4年度から「郷土の偉人顕彰作業」を実施し、これまで「郷土の偉人」や「藩校」、「論語」といった壬生ゆかりの歴史を見出し、発信を行ってきた。これらの成果は観光や地域づくり等の「まちづくり」のほか、管内の学校教育現場にも取り入れられ、「人づくり」にも貢献してきた。</p> <p>幅広い世代に地域の歴史や魅力を浸透させることは難しく、今後も引き続きこれらの取組を継続して実施することにより、壬生という地域の特色を多くの町民に発信する必要がある。</p>
事業目的	<p>事業の目的を簡潔に記載</p> <p>「郷土の偉人顕彰作業」を行い、その結果を企画展や講演会で発表し、住民が地域に誇りと愛着を持てるよう啓発する。また、壬生藩主の『献立帳』を元にした展示や講演会を町外に向けて発信することで、壬生町の『参加交流型』の関係人口の創出を図る。</p>
事業概要	<p>当該年度の実施内容、翌年度以降の取組等を簡潔に記載、集客イベント実施の場合は【 】内に関係人口の分類型を記載</p> <p>(1) 当該年度の実施内容</p> <p>平成29年度から令和元年の栃木県わがまち未来創造事業では、「郷土の偉人顕彰」や「論語大朗読」などの事業を実施し、壬生藩や壬生という地域の特色の発信を通じて、「シビックプライド」の醸成を図ってきた。令和4年度からの事業においては、壬生藩や鳥居家に関する事業を実施し、壬生のシビックプライドのなかで重要な位置を占める旧市街地(旧城下町)の活性化に寄与するとともに、参加・交流する関係人口の拡大を図る。</p> <p>令和5年度は、2023年NHK大河ドラマ「どうする家康」に壬生藩鳥居家の家祖である鳥居忠吉・元忠親子が登場することから、「忠吉・元忠親子」に焦点を当てた展示を実施します。</p> <p>①企画展「THE TADAYOSHI&MOTOTADA-家康への熱い忠義心-」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> 会期: 令和5年11月4日～12月17日 場所: 壬生町立歴史民俗資料館 内容: 壬生藩鳥居家の家祖である鳥居忠吉・元忠親子について、壬生町内を中心に全国に残された鳥居家の遺物、遺
事業に係る市町総合戦略の目標及びKPI	各市町の戦略から抜き出して記載

各年度ごとの事業内容及び事業費の内訳

(単位:円)

	令和4年度	令和5年度	令和6年度	支援期間の 事業費計	支援期間の 翌年度
事業内容	①企画展「大名家の献立 -文化二年壬生御献立帳-」の開催 ②関連講演会の開催	企画展(大名家関連企画展)	企画展(大名家関連企画展予定)		武者行列再興事業
事業費	2,800,000	2,800,000	2,800,000	8,400,000	3,000,000
市町支出金(ソフト事業分)	2,800,000	2,800,000	2,800,000	8,400,000	3,000,000
うち県交付金	1,000,000	1,000,000	1,000,000	3,000,000	
市町支出金(ハード事業分)	0	0	0	0	
うち県交付金	0	0	0	0	
その他自主財源等	0	0	0	0	0

市町担当情報

担当課(グループ・係)名	壬生町立歴史民俗資料館 学芸係
担当者名	仲沢
電話	0282(82)8544
連絡先 FAX	同上
E-mail	rekimin@town.mibu.lg.jp

栃木県わがまちつながり構築事業計画書(単位事業収支予算書)

市町名	壬生町	※連携事業の場合は幹事市町名を記載すること。
単位事業名	郷土の偉人顕彰作業	
対象年度	5	年度

1 収入の部

科目	予算額 (精算額)	備考
町補助金	2,800,000	(交付金:栃木県わがまちつながり構築事業)
計	2,800,000	

2 支出の部

科目	予算額 (精算額)	財源			備考
		市町支出額		自主財源等	
			県交付金		
報償費	500,000	500,000	170,000	0	講演者謝金(徳川家広氏、鳥居忠明氏、稲葉継陽氏)
旅費	28,000	28,000	10,000	0	資料集荷・返却等
印刷製本費	1,200,000	1,200,000	440,000	0	企画展図録(500部)・ポスター(200枚)・チラシ(3,000枚)
通信運搬費	622,000	622,000	230,000	0	資料集荷・返却、保険等
委託料	450,000	450,000	150,000	0	展示のディスプレイ(パネル、サイン制作・設営)
				0	
				0	
				0	
				0	
				0	
計	2,800,000	2,800,000	1,000,000	0	

科目欄には、原則地方自治法施行規則第15条別記の節(需用費、役務費は細節)の区分を用いてください。

具体的な支出内容については、備考欄に記入してください。

連携事業のうち、次に該当する場合は、様式1号-5も提出してください。

- 1 市町のみで事業を実施する場合
- 2 複数の地域づくり団体等に支出する場合